

電動車に関するポリシーラウンドテーブル議事概要（仮訳）

2018年9月30日、神戸において電動車に関するポリシーラウンドテーブルを実施し、国際機関、産業団体、政府機関計16の政府及び機関の代表者が参加した（出席者は別紙のとおり）。

ポリシーラウンドテーブルは、経済産業省大臣官房審議官（製造産業局担当）上田洋二が議長を務め、議長の責任の下、議事録がまとめられた。

ポリシーラウンドテーブルにおいて参加者は以下の議題を議論し認識を共有した。

1. 現在の市場状況や電動車（xEV）普及のため政策
2. 世界的な気候変動への対策としての車両から排出される温室効果ガス削減の重要性
3. 究極的ゴールとして Well-to-Wheel ベースで温室効果ガス排出量をゼロとする重要性
4. 電動化を促進するため各地域の電力供給網と充電インフラ整備状況、消費者の認識を考慮した各地域の戦略の作成と xEV 普及のため適切な政策措置を講じることの重要性
5. 技術革新の促進、蓄電池のエコシステムや効率的な充電インフラ整備の確立、及び蓄電池資源のサプライチェーンに関する国際的な議論の深化など、地域における電動化を促進するための国際協力の推進と国際機関の役割の重要性
6. EVS32 にて次回ポリシーラウンドテーブルを開催